

祝

救急功労者

消防庁長官表彰受賞

令和6年9月9日の【救急の日】に東京都千代田区にて救急功労者表彰式が行われ、奈良市消防局から北消防署の安原署長が消防庁長官表彰を受賞しました。

この賞は『救急業務の重要性を理解し、救急業務の推進のために尽力し、顕著な功績があった者』に贈られる、全国でも20名しか選ばれない栄誉ある賞です。

安原署長は救急救命士の有資格者で、奈良市で初めて、救急業務の教育指導及び検証を行う立場である指導救命士となり、救急隊員の教育、市内救急体制の整備、他本部や各医療機関との連携調整を図るなど、救急医療の強化に取り組まれてきました。

また、平成30年に作成された「救急活動時間効率化5ヵ年プロジェクト」については、同年に総務省消防庁の「救急業務のあり方に関する検討会」にて、救急活動の短縮に取り組んだモデルケースとして取り上げられました。

【安原署長からのコメント】

この度は、栄誉ある救急功労者表彰を頂戴し誠に光栄に存じます。この賞はひとえに市民の皆様のご協力、職員・関係者の皆様のお力添えのおかげでございます。この場を借りて御礼申し上げます。

救急業務を取り巻く環境は、出場件数の増加や新興感染症など、著しく変化しています。引き続き、市民の皆様に安心できる救急・消防業務をご提供できるよう尽力してまいります。

